

# 平成27年度事業計画

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

## I. 基本方針

当財団においては、財政的支援環境の極めて厳しい変化の中で、将来に向けての自律的な事業の推進の為、平成23年10月に移行認定を受け、公益財団法人として新たな一歩を踏み出す事が出来ましたのは、関係の皆さまのお力添えの賜物と深く感謝しております。

平成27年度の事業におきましても、平成24年度から方針転換を行いました通り財団の財政基盤ならびに事務局人員体制を勘案し、引き続き「全日本マイクロマウス大会の継続的な開催」を最優先課題とし、特に全国大会の開催についての準備・運営は年度毎の実行委員会を新たに組織し、参加者を主体とするボランティアグループの協力を得ながら運営・実施しながら、その運営体制の確立に努力する所存で有ります。

平成24年度の芝浦工業大学（実行委員長：長谷川忠大先生）に始まり、平成25年度は東京理科大（実行委員長：中村文一先生）に開催校となって頂いた後、昨年は東京工芸大学（実行委員長：鈴木秀和先生）に会場を提供頂くばかりでなく、地元の厚木市や厚木商工会議所の財政的な協力も頂けるなど大変大きな支援を受けることが出来ました。

さらに平成27年度につきましても、平成26年度の開催校を引き受けて頂いた東京工芸大学の更なるご協力により、二年連続の開催を予定しており、運営の効率化やノウハウの確立を行うべく、昨年より継続的にその準備を進めております。

今後とも引き続き当財団事業につき、皆様方のご支援ご協力をお願い申し上げます。

## II. 事業の実施計画

科学技術に関する普及、調査研究及びこれらに対する助成に関する事業

### (1) メカトロニクス技術・ロボット技術の普及活動と助成事業

#### ①-1 マイクロマウス2015(第36回全日本マイクロマウス大会)の開催

平成26年度に続き東京工芸大学の協力を得て、「マイクロマウス2015実行委員会」(実行委員長:東京工芸大鈴木秀和)によって計画・準備を行いながら、当日の運営についてもボランティアグループの協力を得ながら行う事とする。また、常置委員会としてのマイクロマウス委員会についても、それに伴う役割分担や協力体制の充実・確立の為に、さらなる再編成を行う。

・期 日:2015年11月20日(金)~22日(日) (予定)

・会 場:東京工芸大学厚木キャンパス メインアリーナ (予定)

#### ①-2 マイクロマウス各地区大会ならびに全国学生大会の開催と助成

・期 間:2015年7月~11月

・場 所:全国地方支部等にて開催

#### ② つくばチャレンジ2015への協力

・主催:つくばチャレンジ実行委員会、つくば市

・共催・後援:関連団体

・協力:当財団、ほか関連団体

・日程:本走行・2015年11月(予定)(実験走行/7月~11月の間に実施予定)

### (2) その他の普及活動

#### ①第14回全国こども科学映像祭の開催

・主催:一般財団法人日本視聴覚教育協会、公益財団法人つくば科学万博記念財団、

独立行政法人科学技術振興機構、および当財団

## ②広報事業

財団の事業活動について、ホームページならびにメールマガジン等の発行を中心としながら、財団事業の情報発信を積極的に実施する。

## (3) 情報交流・国際交流に関する事業

### 「International Conference on Intelligent Robots and Systems 2015」

(知能ロボットとシステムに関する国際会議2015：略称 IROS2015) への開催協力

- ・ 期 間：2015年9月28日（月）～10月3日（土）
- ・ 場 所：ハンブルグ（ドイツ）

## III. 資金調達及び設備投資の見込みについて

資金調達、設備投資(除却または売却を含む)については、今年度は重要なものは有りません。

## IV. 総務

### 1. 会議の開催

#### (1) 定例理事会の開催

- ・ 平成27年5月
- ・ 平成28年3月

#### (2) 定時評議員会の開催

- ・ 平成27年6月

以上